

令和2年度 第4回南房総・館山地域公共交通活性化協議会 会議報告

会議の名称	令和2年度 第4回 南房総・館山地域公共交通活性化協議会
開催日時	令和3年3月22日(月) 14時30分～16時05分
開催場所	南房総市役所 別館1 大会議室
出席者等	<p>&lt;出席委員&gt;18名</p> <p>豊田 和広 委員(千葉県総合企画部 交通計画課長)</p> <p>嶋田 守 委員(南房総市副市長)</p> <p>鈴木 雄二 委員(館山市副市長)</p> <p>簾谷 幸治 委員(東日本旅客鉄道株式会社 館山駅長)</p> <p>平野 直 委員(日東交通株式会社 常務取締役)</p> <p>竜崎 広幸 委員(ジェイアールバス関東株式会社 館山支店長)</p> <p>山田 幸生 委員(鏡浦自動車株式会社 代表取締役)</p> <p>鈴木 義和 委員(南房タクシー株式会社 取締役)</p> <p>池田 和弘 委員(一般社団法人千葉県トラック協会 常務理事)</p> <p>丸山 徹 委員(日東交通労働組合 安房支部)</p> <p>大沢 正美 委員(安房土木事務所 調整課長)</p> <p>高橋 佐一 委員(南房総市住民・利用者代表・富山地区)</p> <p>本橋 清一 委員(南房総市住民・利用者代表・白浜地区)</p> <p>石井 久治 委員(館山市住民・利用者代表(連合会長) 長須賀区連合町内会長)</p> <p>板垣友圭梨 委員代理出席(国土交通省関東運輸局 交通政策部交通企画課長)</p> <p>佐藤 義尚 委員(関東運輸局千葉運輸支局 首席運輸企画専門官)</p> <p>鈴木 賢二 委員(安房道の駅連絡会会長)</p> <p>為国 孝敏 委員(NPO 法人まちづくり支援センター代表理事)</p> <p>&lt;欠席委員&gt;5名</p> <p>成田 斉 委員(一般社団法人千葉県バス協会 専務理事)</p> <p>大和地紀昭 委員(館山市住民・利用者代表(連合副会長) 船形地区連合区長会長)</p> <p>黒澤 充孝 委員(館山警察署 交通課長)</p> <p>西川 隆 委員(館山市社会福祉協議会事務局長)</p> <p>轟 朝幸 委員(日本大学理工学部交通システム工学科 教授)</p> <p>&lt;事務局&gt;</p> <p>千葉県総合企画部交通計画課(企画調整班) 渡邊班長</p> <p>館山市総合政策部企画課 亀井課長、渋谷係長、大賀副主査</p> <p>南房総市総務部企画財政課 高梨課長、中村課長補佐、忍足副主査</p>
傍聴人	0人

<p>会議の議題等</p>	<p>&lt;議題&gt;  (協議第8号) 南房総・館山地域公共交通計画(素案)について</p> <p>&lt;その他配布資料&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目標達成に向けた実施事業の関連表 . . . (A4 方面-1 枚)</li> <li>・ 完了実績報告書(国補助) . . . (A4 両面-1 枚)</li> <li>・ 補助金実績報告書(県補助) . . . (A4 両面-1 枚)</li> <li>・ 丸線・平群線の実証運行に関する利用者実績報告 . . . (A4 両面-1 枚)</li> <li>・ 房日新聞の切り抜き(実証運行の記事掲載) . . . (A4 両面-1 枚)</li> </ul>
<p>議事の経過及び発言の要旨</p>	<p>別紙 会議録のとおり</p>

<p>事務局</p>	<p>本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。本日の第4回では、南房総・館山地域公共交通計画の素案について協議いただくことになっておりますので、よろしくお願いいいたします。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症予防について国の基本方針に基づき、感染拡大を防ぐため委員の皆様も対策に苦慮されている中、ご出席いただき重ねてお礼申し上げます。当会議においても予防対策として、会場入り口への手指消毒液の設置、室内換気、座席空間の確保などを取り組ませていただいております。委員の皆様におかれましてもマスクの着用や咳エチケットのご理解ご協力をよろしくお願いいいたします。</p> <p>では、只今より令和2年度第4回南房総・館山地域公共交通活性化協議会を開会させていただきます。本日、進行を務めさせていただきます。南房総市企画財政課の高梨と申します。よろしくお願いいいたします。</p> <p>なお、本協議会の会議録作成のため、写真撮影及び録音をさせていただきますので、予めご了承ください。</p>
<p>豊田会長</p>	<p>&lt;豊田会長 あいさつ&gt;</p> <p>日ごろより、千葉県及び南房総・館山地域における公共交通行政にご理解ご協力をいただき改めて御礼申し上げます。1月7日より1都3県に発令されていた緊急事態宣言は昨日、ようやく解除されました。解除後においても不要不急の外出自粛などの要請が続いておりますので、地域公共交通が本格回復まではまだまだ時間がかかるかと思っております。地域公共交通事業者の皆様におかれましては、引き続き感染防止対策を万全にしながら地域住民の足を守るため運行を継続していただきますようお願いいたします。本日の議題については、これまでの各種アンケート、乗降調査や実証運行等から作成した交通計画素案についてとなっておりますので、活発なご議論をお願いいいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>【出欠席報告】</p> <p>続きまして、本日の委員の皆様の出席状況を確認させていただきます。</p> <p>本日お配りいたしました南房総・館山地域公共交通活性化協議会席次表をご覧ください。なお、一般社団法人千葉県バス協会 成田様、館山市住民・利用者代表 大和路様、館山警察署交通課長 黒澤様、館山市社会福祉協議会事務局長 西川様、日本大学理工学部教授 轟様については、本日都合により欠席とのご報告を受けております。</p> <p>また、関東運輸局交通政策部交通企画課の板垣課長様の代理として同課係長の池田様にご出席をいただいておりますことを合わせてご報告させていただきます。</p> <p>続きまして、次第の3. 第3回協議会の書面議決の報告です。</p>

	<p>事務局より報告いたします。</p> <p>資料については、先日、郵送にて委員の皆様には送らせていただいております。</p> <p>「第3回南房総・館山地域公共交通活性化協議会」については、1月26日に開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が発令されていることや、感染拡大防止の観点から、書面による開催とさせていただきました。今年度策定を進めている2市合同の「南房総・館山地域公共交通計画」について、計画に定める目標や方向性、施策事業案を記載した骨子案について、内容をご確認いただきました。</p> <p>結果については、全委員よりご承認いただきましたので、南房総・館山地域公共交通活性化協議会規約第10条の規定に基づき、本議題は承認されておりますので、ご報告いたします。</p> <p>以上で説明を終わります。</p> <p>続きまして、次第の4. 議事に移ります。</p> <p>ここで会議の成立についてご報告です。本日の出席委員は、18人です。</p> <p>半数以上の出席がありますので、南房総・館山地域公共交通活性化協議会規約第9条の規定により、地域公共交通活性化協議会はここに成立いたしました。</p> <p>次に議事進行については、協議会規約第9条第2項の規定により豊田会長にお願いいたします。</p>
<p>豊田会長 (以下議長)</p>	<p>それでは、改めまして、よろしくお願いいたします。</p> <p>スムーズな議事進行に務めてまいりますので、皆様方のご協力をお願いいたします。</p> <p>それでは、早速、議事に入らせていただきます。</p> <p>本日の議事進行につきましては、お手元にお配りいたしました会議次第に沿って行いますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>また、ご質疑等がございます方は、挙手をもって、私が指名した後、職員がマイクをお持ちしますので、お名前を言っていただいてから、発言をしていただきたいと思います。</p> <p>議事の「(1) 南房総・館山地域公共交通計画(素案)について」</p> <p>それでは、議事の「(1) 南房総・館山地域公共交通計画(素案)について」を議題とします。事務局より説明願います。</p>
<p>事務局</p>	<p>計画の素案資料 をご覧ください。</p> <p>まず、資料の差し替えや訂正をさせていただきます。本日、お配りしました目標に向けた実施事業の関連表を追加させていただきます。追加箇所としては70ページに加え</p>

る予定です。次に 52 ページから 55 ページまでグラフの修正を行っておりますので、こちらは資料の差し替えとさせていただきます。また、17 ページの中断、丸線の運行区間について、「三芳病院前」は、経由地になりますので、こちらは「川谷・細田」に訂正となります。次に平群線の運行区間についても同様に「三芳病院前」は経由地になりますので、こちらは「平群車庫」に訂正となります。次に 19 ページの上から三段目の「利用者数は富浦線が減少傾向・・・」となっておりますが、「富山線」に訂正となります。次に 20 ページ上段の主に南房総・館山地域内を営業地域とする事業者は 6 事業者であり、そのうち 2 事業者が・・・」となっておりますが、「・・・ 6 事業者ある。」に訂正となります。最後に 83 ページの中ほどに「南房総・館山地域公共交通会議」となっていますが、「南房総・館山地域公共交通活性化協議会」に訂正となります。以上、箇所数が多く大変失礼いたしました。

それでは、説明に入ります。

本年度、当協議会では、南房総・館山地域公共交通計画の策定を目指し、計画づくりや乗降調査、実証運行に取り組んでまいりました。ここに計画素案をご提示し、課題整理、基本方針、計画目標、各種事業についてご説明させていただき、各種内容についてご意見をいただければと思います。

2 市に跨る現状の公共交通網の課題や、当該地域の移動実態等をふまえながら新たな公共交通の形態を試すことも取り入れ、日常的生活交通を確保やまちづくりや観光振興等の地域戦略と一体となった地域公共交通ネットワークを構築するため、目標や方向性、関係者等の役割、スケジュール等を明確にした合同の交通計画策定に取り組んでまいりました。

計画策定に向けての業務としましては、当該地域の課題整理、広域視点で交通ネットワーク案の検討、鉄道の利用促進策の検討、交通結節点の検討、地域に適した交通体系の検討を行いました。課題整理では、館山市で平成 30 年度、南房総市が令和元年度に実施した市民アンケートや利用者アンケート、今年度実施した乗降調査や実証運行のデータ等を活用するとともに、住民意見交換会を行いました。こちらは両市で特に公共交通の不便度が高い地域を抽出し、住民意見交換会の場として、南房総市の三芳地区の民生児童委員の例月会、館山市神戸地区の懇談会に参加いたしました。その後も 2 か所を予定しておりましたが、緊急事態宣言が発令されたことによりやむなく中止いたしました。

計画素案の 1 ページから 28 ページまでは、本地域の概要や 2 市の人口や交通に関する現況を示しております。29 ページから 63 ページまでは、アンケート調査や事業者ヒアリング、乗降調査の集計結果などを掲載しております。この乗降調査の結果については、のちほど受託事業者のランドブレイン様より説明をいただく予定です。

それでは、65 ページをご覧ください。

人口減少や少子高齢化など社会情勢の変化や、様々な利用による公共交通利用者の減少のほか、市民アンケートや利用者アンケート、事業者ヒアリングによるニーズ把握

等を行った結果、6つの課題を整理しました。

1つ目は、半数以上の外出目的となる買い物を中心とした「高齢者の買い物や通院、通学利用者の移動手段の確保」2つ目は、8割を超える自家用車保有率の「過度な自家用車利用の抑制」3つ目は、「地域特性に応じた交通サービスの提供」、4つ目は、「一次交通と二次交通の接続利便性の向上」、5つ目は、「観光二次交通の確保による観光需要呼び戻しへの寄与」、6つ目は、「公共交通全般に関する情報発信の強化」となります。

これらの課題に対応するため、基本理念を「地域住民の生活を守り、地域の活性化を図る社会基盤となる圏域一体型の公共交通ネットワークの実現」としました。これは、現在進めている「館山市・南房総市定住自立圏構想」による形成協定項目の交通部門とも連携しております。

次にこれらの基本方針としては、同じく6つ選定しております。

1つ目は、「生活圏をともにする2市の移動需要を支える公共交通ネットワークの再構築」、2つ目は、「地域輸送資源を総動員した、効果的で効率的な運行の実現」、3つ目は、「交通結節点のサービス水準向上による、利用しやすい環境づくり」、4つ目は、「観光ニーズに対応した魅力のある二次交通の整備」、5つ目は、「地域自らがデザインした地域主体の取組による持続可能な交通システムの導入」、6つ目は、「公共交通をもっと利用してもらうための市民の意識改革と行動変容の推進」としています。

次に66ページをご覧ください。

こちらは、公共交通の機能分担を提示しています。

・・・地域公共交通システムの機能分担を読み上げる・・・

次に67ページでは、計画期間を記載しております。令和3年から7年までの5年間で予定します。これは、館山市、南房総市の交通計画と終了時期が統一されることとなります。

次に計画目標と評価指標として、68ページをご覧ください。

6つの基本方針を実現するため、達成すべき計画の目標を次のとおり設定しております。一つ目は、「利用する人にわかりやすく、利便性の高い公共交通ネットワークの実現」、二つ目は、「各路線の役割分担を明確にした、幹線・支線一体的なネットワークの形成」、三つ目は、「乗継利便性の確保・向上を目指した、交通結節点の機能整備」、四つ目は、「観光産業との連携による、圏域の活性化及び地域路線の維持」、五つ目は、「住民、交通事業者、行政との協働による持続可能なまちづくり」、六つ目は、「より公共交通に親んでもらい、利用してもらうための取組展開」としています。

次に評価指標と目標値となります。

評価指標は、7項目に設定しております。

公共交通利用者数として、圏域内の路線バス、鉄道駅利用者数、高速バスとそれぞれの数値を用いております。

年間観光客数は、主要観光施設の年間観光入込客数としています。移動困難者の割合は、市民アンケートによる割合としています。運転免許証返納数は、両市の返納者数の合計値としています。交通結節点の機能強化については、本計画で事業計画を立てております。財政負担額については、2市の路線バス維持に係る補助金等の額としています。最後に収支率は、地域間幹線系統と、地域内路線別で設定しています。

続いて、69 ページは、課題と基本方針、目標の関連性を表にしています。

ここで、本日お配りしました1枚ものの「目標達成に向けた実施事業の関連表」をご覧ください。今表では、目標に対しまして9つの事業を設定、更に29の項目出しをしています。

まず、目標1と目標2に対しては、事業1として、「地域間幹線系統の維持」事業2及び事業3として、「地域内路線の再編および有効活用」事業7として、「鉄道の利用促進」事業8として、「高速バスの利用促進」の5事業を考えています。次に、目標3に対しまして、「交通結節点の機能強化」の1事業、次に、目標4に対しまして、「観光ニーズに対応した交通体系の構築」の1事業、次に、目標5に対しまして、「ライダー交通及び補完交通の推進」の1事業、最後に、目標6に対しまして、「利用しやすい・利用したいと感じてもらえる環境の整備」の1事業としています。それでは、各事業についてご説明いたしますが、時間が限られておりますので、いくつか抜粋して説明させていただきます。

素案資料の70ページをご覧ください。

こちらは、事業1として、地域間幹線系統の維持として、市内線、南房州本線、館山鴨川線についてとなります。

国県補助対象路線として、圏域内の利用者数の7割がこの3路線の利用となって、これまで運行を継続しておりますが、ここ数年、大きな変化は主だった変更が行われず、利用者の減少も続いております。そのため、今後も補助対象路線として維持することを目標に、接続強化や利便性向上に取り組むべく、市内線から運行ルートの見直し検討に着手したいと考えます。

続いて、71 ページは、事業2として、地域内路線の再編及び有効活用として主に2路線を上げています。平成31年3月に2路線を統合した「白浜千倉館山線」については、長大路線になったことで、白浜方面から館山駅まで乗り継ぎが必要なくなった一方で、乗車時間や運賃の影響が利用者に考えられますし、今回の乗降調査でも経由地の千倉駅が乗り降りとも大きなウエイトを占めていたため、路線の維持に向けた見直しを検討してまいりたいと思います。また、豊房線については、館山市の計画にも記載しておりますが、地域住民と連携し、新たな交通システムを検討してまいりたいと思います。

次に事業3では、これまで廃止代替バスとして運行している丸線・平群線の見直しを挙げています。この路線は、南房総市地域公共交通再編実施計画と、館山市地域公共交通網形成計画に盛り込んでいる計画の一つで、南房総市の三芳分庁舎での系統分離

や交通結節点としての活用などが想定されております。

また、利用者数の減少や車両の老朽化、新たな需要の可能性や利便性の向上、更に運行ルートの一部が市内線と重複していることなど、改善する要素が見込まれるため、計画策定前に実証運行を行いました。その実証運行の実績報告となりますが、本日、お配りした丸線・平群線の実証運行に関する利用者実績報告をご覧ください。

実証運行は、令和3年1月18日から3月14日までの56日間、行いました。

南房総市の三芳分庁舎を交通結節点として、丸線を館山市の那古海岸通りにルート変更、平群線を安房地域医療センター経由館山駅行きに、さらに従来の平群線を補う形で、小型車を三芳分庁舎から館山駅間に運行しました。

このほか、館山駅から三芳分庁舎間の運賃を1回200円とし、乗り継ぎ割引を導入しました。実績として期間中の利用者人数は、2,452人で、一日あたり43.8人、一便あたり1.6人でした。過去の乗降調査の数値の推計値と比較するとコロナ禍の運行でしたが、大きな変化はみられない利用者数だったと思われます。利用人数の割合では、上り下りともに丸線が6割を占めていました。また、三芳分庁舎から館山駅間が8割の利用者割合となりました。バス停別でも館山駅とイオンタウン館山の利用が多くみられました。次に臨時に設定した新規バス停では、交通結節点に設定した三芳分庁舎で252人、第一中学校前で105人、那古海岸で66人おり、全体で12%の利用が見られました。また、利用者からの声では、医療センターに行けるようになって便利になった意見や改善を希望する意見、元に戻してほしい意見などがありました。

それでは、素案資料の72ページをご覧ください。

今回の実証運行の結果を受け、新たなルートの需要を確認することができましたので、館山駅から三芳分庁舎、三芳分庁舎以遠各地区を巡る系統に分離することや、それぞれの運行ルートについて検討し、利便性の向上と財政支出の減少を目指したいと思っております。

続いて、76ページの事業5ですが、こちらは、南房総市及び館山市の計画にて中心となりますが、関連性がありますので、フィーダー交通及び補完交通の機能役割を重視するため、記載しております。各市営路線バスのほか、自宅から目的地までドア・ツー・ドアで移動でき、きめ細かな対応が可能なタクシーは、当該地域にはなくてはならない交通体系となります。ここの機能役割を明確にし、利用促進や利便性向上に繋げてまいりたいと思っております。

続いて、78ページは、JR内房線の利用促進となります。

先日のダイヤ改正により新型車両によるワンマン運転が導入されましたが、乗り継ぎ接続などの利便性向上の取組を図っていただいておりますが、今後も安全性の確保やだれもが利用しやすい環境づくり、旅行商品の造成による観光需要の取り組みなど鉄道事業者との連携を図ってまいりたいと思っております。

最後に事業9では、利用しやすい・利用したと感じてもらえる環境の整備としてICカードの導入検討として既に一部のタクシー車両には、導入されておりますが、キャ



	<p>ツシュレス化検討のほか、地域版 Maas の入口として WEB 環境を使った定額パスなどを検討し、ターゲットを絞った利便性向上の取組を行うことも考えています。</p> <p>以上が事業の説明となりますが、本計画の推進にあたり、地域住民、交通事業者、行政による協働・連携体制を 83 ページに掲載しております。また、事業の評価・検証については、各事業について進捗状況などを評価し、当協議会に報告し、ご協議いただく予定です。</p> <p>ここで、乗降調査業務及び計画策定支援業務として、コンサルタントのランドブレイン株式会社様にご協力をいただいておりますので、当該素案のまとめにあたりご担当より説明をいただきます。</p> <p>ランドブレインの井口さま、よろしくお願いいたします。</p>
ランドブレイン(株)井口氏	南房総・館山地域公共交通計画策定に係る乗降調査業務の受託事業者のランドブレイン(株)井口氏より調査結果及び当該計画のポイントについて説明した。
議長	ただいまの説明の中でご不明な点等がございましたら、ご質問をお受けしたいと存じます。
竜崎委員	<p>事業 8 (P79) について</p> <p>参考画像について、「館山から無料のシャトルバスで」の部分については、公共交通の観点から相応しくないのでは。</p> <p>事業 9 (P80) について</p> <p>④にバスの乗り方教室の画像について、袖ヶ浦市での取り組みとなっているが、当社及び日東交通では、一昨年にイオンタウン館山で実施しているので、そちらの画像に替えていただけないか。</p>
事務局	<p>高速バス事業者の HP などを参考に、高速バスの路線図に変更します。</p> <p>イオンタウン館山でのイベント画像に変更します。</p>
池田代理委員	<p>乗降調査の結果について質問です。</p> <p>OD 調査を初めての試みということで実施したかと思いますが、市内線は、3 路線の中で利用者が多かったかと思いますが、特に館山駅からイオンタウン館山間が多く距離の短い区間に集中した結果が見受けられる。平均乗車密度に均すと減ってしまう印象。一方で、南房州本線は、館山駅から安房白浜駅までの乗車が一番多い結果となっているが、広域幹線としての役割が見受けられる。白浜千倉館山線については、路線真ん中の千倉駅の利用者が多い。また、千倉駅を跨ぐ利用も見受けられる。路線の再編に難しい印象を受けた。そこで、バス事業者にお伺いしますが、国県幹線補助を受けるため、乗降調査を短日で行っていたが、今までの見立てと、今回の調査との違い</p>

<p>平野委員</p>	<p>はどう感じているか。私は市内線の休日の南無谷方面に利用者がいないことは以外な結果と思います。今回の結果をどう受け止めていらっしゃるかお聞かせ願いたい。</p> <p>これまでの調査ではマンパワーが必要だったため、年に数回しかできなかった。今回のデータは参考にしていきたい。コロナ禍のデータではありますが、特に土休日の流れについては変わってる印象。白浜千倉館山線では、千倉駅で切れている見立てがあったが、跨いで館山方面への利用があったことはデータとして参考になった。今後のダイヤ改正の参考にしていきたい。</p>
<p>竜崎委員</p>	<p>南房州本線については、洲の宮、安房神戸の利用は児童生徒の利用と認識している。また、館山駅から安房白浜駅までの通しでの利用は、驚いた感じを受けている。毎年の乗降調査とはかけ離れた部分もあると思う。今回のデータは、コロナ禍ではありますが、今後の参考にはしていきたい。</p>
<p>簾谷委員</p>	<p>3月13日のダイヤ改正に際しては、ワンマン運転開始にあたり広報等ご協力いただきありがとうございました。1週間経ちましたが、社員が車両に乗り込んでいるが、利用者の皆様にはほぼほぼ、これまで通り利用いただいている。特段のご意見はいただいていない。</p> <p>事業の9（P80）のICカード導入検討について、当社館山駅はSuicaの利用率は約87%となっている。今後、市内のバスの方にもSuicaやPASMOが導入され、駅からバス利用でもキャッシュレス化が利用者にとっても良い。また、デジタルサイネージについては、京都駅などにもあるが、旅行者にとっては便利に思っている。</p> <p>事業7の無人駅の利活用については、弊社にとっても何かしら検討していかなければと思っている案件、一緒に考えていければと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>《その他質疑なし》</p> <p>質問が無いようでございますので、議事の（1）「南房総・館山地域公共交通計画（素案）について」お諮りいたします。</p> <p>本日ご意見を頂戴しました地域交通計画（素案）の内容を一部修正しまして、本日の交通計画 素案についてご異議ございませんでしょうか？</p> <p>（異議なしの声）ご異議ないものと認めます。よって本案は承認されました。</p>
<p>議長</p>	<p>ここで、せっかくの機会ですので、お時間を頂戴し、交通事業者の皆様より近況報告等をいただければと思います。ご協力のほど、お願いいたします。</p>
<p>簾谷委員</p>	<p>3月13日のダイヤ改正が行われました。ワンマン運転が導入され、乗り降りのボタン操作も導入されたが、月曜日、火曜日あたりからいつも通りの利用となっている。</p>

<p>平野委員</p>	<p>また、鉄道好きの方の利用が増えており、春休みまで続くと思っている。 オープントップバスの取り組みも3月27日から運行を再開する。4月半ばまで運行予定があるので、ご利用いただけたらと思います。</p> <p>丸・平群線の実証運行については、緊急事態宣言中の実証となったが、三芳分庁舎での乗り継ぎや那古海岸ルートでの運行に取り組んだ。利用者数は厳しい数値となっているが、ある一定の需要は確認できた。これについては、今後の計画の参考になった。これまでの重複区間の課題も乗務員のアナウンスなどで回避した。</p> <p>全体的に利用者数は厳しい状況だが、路線バスは7割まで戻っている。公共交通の維持・確保に努めて行く中で、計画にある利用促進にも取り組んでまいりたい。</p> <p>最後に企画乗車券のご紹介ですが、ジェイアールバス関東と連携したもので館山市内線、南房州本線、洲の崎線の3路線共通乗車券を今日から発売した。これは、昨年10月から12月まで館山航空隊を舞台としたアニメとコラボした商品となっており、昨日からSNSで情報発信したが、午前中だけで6枚売れている。</p>
<p>竜崎委員</p>	<p>鉄道のダイヤ改正に伴い、路線も一部変更している。路線バスは、コロナ禍の利用状況は厳しい状況が続いている。昨年秋ごろは、昨対100まで戻ってきていたが、現在は半分くらいの割合となっている。今年度としては7割くらいの利用状況。高速バスは、減便が続いている。3/18まで9往復運行、19日からは12往復にした。一便あたり10名程度、ピーク時の1/4となっている。また、千葉県初の自転車ラックバスを導入した。新しい取り組みとして南房総のサイクルツーリズムに繋がるといい。館山市の協力で1台のみだが、フロントに2台積むことが可能。館山駅から相の浜まで2往復するように組んでいる。季節柄ぜひ、サイクリングをお楽しみいただきたい。</p>
<p>山田委員</p>	<p>タクシーは高いイメージが一部にあります。昨年2月に料金の改正を行い、これから改善してくると思っていた矢先に、コロナ禍となってしまった。昨年4月、5月は前年30%操業だったが、今現在も50~60%の営業のため雇用調整助成金を活用している。運転免許証返納者に対しては、10%の割引を事業者負担で対応しているので、タクシー活用をお願いしたい。キャッシュレス化も図り、GPS機能も入れた配車システムを行っている。一方で、乗務員の補充がこの地域は特に難しい。身の回りに興味のある方がいればご紹介いただきたい。料金改正については、地域特性を踏まえ、当該地域は、木更津や君津より低い単価となっている。乗り始め500円が370円、迎車も500円が300円と単価が低く設定している。大変厳しい状況で運営している実態をお話しさせていただきました。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>山田委員さんがお話しいただいたとおりですが、一点お願いですが、雇用調整助成金の期間延長をみなさんのお力をお願いしたい。</p>

豊田会長	<p>県の担当部局に確認し、別途連絡いたします。</p>
池田代理委員	<p>計画素案は、承認がされたところですが、数点、ご検討いただければと思います、発言させていただきます。65 ページの方針2、方針5、方針6について、もう少し内容を盛り込めないでしょうか。地域輸送資源については、76 ページの事業5において、例えば、タクシー事業者からのご発言がありましたが、乗務員確保の難しさの中、自然体でそれぞれの運送事業者と自家用送迎とで運転手を取り合うことではなく、そういった事象について踏み込んでいただくことや、交通空白地域やタクシー利用の検討は地域住民主導なのか、行政主導なのか、どの手法から検討していくのか、道筋を明記したほうが、今後進めやすいのではないのでしょうか。続いて事業9の80ページのモビリティ・マネジメントの取り組みが過度な自家用車の抑制が課題となっている当該地域では、子供だけを対象とするには弱いのでは。免許返納者への特典も情報提供しつつ、元気な高齢者や高校生向けにも実施してよいのでは。</p> <p>当該地域は、おとなしい方が多いように思うが、行政がいくら路線を残しても住民が必要となれば意味がないし、交通不便地域においても地域住民の意見を尊重し、為国委員のアドバイスをいただきながら必要なものに取り組んでいただきたい。</p> <p>最後に、策定後の計画書をすべて見る方は少ないと思うので、概要版については市民に分かりやすい「課題」や「取り組み内容」が記載されたものとしていただきたい。</p>
為国委員	<p>今回の計画は、まとめていただいてよかったです。</p> <p>今回の計画は、南房総・館山地域となっている。群馬県館林市地域もかかわっているが、違いがあって法定協議会が両市に存在していることがあげられる。そのため、事業5などは、とても大事なことだが、両市の法定協議会にて深く取り組んでいくことと思います。両市の計画については、毎年の評価の中で検討や計画変更を協議していただきたい。生活交通としての需要のほか観光需要も取り込んでいかなければならない。このあたりは、共同で取り組んでいくべきではないか。事業5については、両市の法廷協議会でぜひ、取り組んでいただき、この協議会にもどして協力できることから取り組んでいただきたい。</p> <p>千葉県にもこの地域ならではのサポートをしてあげてほしい。</p>
山田委員	<p>タクシー業界ではUD タクシー（ユニバーサルデザイン）の導入が進められている。車体価格が非常に高い。国が60万、県が60万の助成をいただいていたが、令和3年度も県に60万の助成をお願いしたい。経営が厳しくなかなか導入が進まないの、ご検討いただきたい。</p>
豊田会長	<p>県では4年ほど前から助成しているかと思うが、福祉部門で対応しているが、知事交</p>

	<p>代のタイミングのため当初予算に計上していない。新知事の予算積算の中で検討していく予定のようなので、こちらからも現場の声を伝えさせていただく。</p>
議長	<p>それでは、他にないようなのでこの辺で終了したいと思います。慎重なるご審議、また貴重なご意見等ありがとうございました。今後ともご協力いただきますようお願いいたします。それでは、進行を事務局へお返しします。</p>
事務局	<p>豊田会長、円滑な議事進行ありがとうございました。 続きまして、次第の5「その他」に移らせていただきます。 事務局より補助事業の実績報告について説明いたします。</p>
事務局	<p>令和2年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金について、対象事業完了実績報告書及び千葉県補助事業の持続可能な地域公共交通の確保支援事業補助金実績報告書について説明。</p> <p>次に、当協議会委員の継続のお願いです。 令和元年に立ち上げました当協議会では、現在の委員の皆様の協力のもと、運営をしておりますが、その委員の任期が令和3年3月31日までとなっています。そのため、引き続き当協議会の委員としての参画をお願いしたいところです。追って文書にて依頼させていただきます。</p> <p>本日ご出席いただいております委員の皆様から、何かございますでしょうか。 (「なし」の声あり)</p> <p>コロナ禍の実証運行となりましたが、実態は確認できたと思います。今後も様々な施策について、地域住民、交通事業者と連携した当該地域の公共交通ネットワークを構築してまいります。</p> <p>次回の会議につきましては、本日ご意見を頂戴しました地域交通計画(素案)の内容を一部修正しまして、再度、原案として4月下旬に協議会を開催し、ご審議いただく予定です。その後、両市においてパブリックコメントを行い、本年6月頃に計画案として協議会に提案させていただきます。会議日程等については、事務局より事前に調整して連絡させていただきます。ご協力をお願いいたします。</p> <p><b>【閉会】</b></p> <p>委員の皆様方には、長時間にわたりまして、慎重なるご審議をしていただきましてありがとうございました。以上をもちまして、令和2年度第4回南房総・館山地域公共交通活性化協議会会議を閉会させていただきます。</p> <p>本日は、誠にありがとうございました。</p>